

近畿厚生局長 殿

開設者名 学校法人 近畿大学
理事長 世耕 弘明

印

近畿大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	65人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)



7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	461人	57人	470.5人	看護補助者	100人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	11人	9.0人	理学療法士	12人	臨床検査技師	93人
薬剤師	64人	6人	67.2人	作業療法士	3人	臨床衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助産師	27人	0人	27.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	820人	28人	840.7人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	4人	0人	4.0人	栄養士	0人	その他の技術員	36人
歯科衛生士	4人	3人	6.2人	歯科技工士	2人	事務職員	347人
管理栄養士	7人	2人	9.0人	診療放射線技師	47人	その他の職員	10人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	735.6人	3.6人	739.2人
1日当たり平均外来患者数	2,221.9人	66.7人	2,288.7人
1日当たり平均調剤数			4,373.20剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	胃癌に対する胃切除後の抗悪性腫瘍剤の腹腔内反復投与法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 予後不良な大型3型、4型胃癌または、CY1,P1を伴う胃癌症例に対する胃切除後のPaclitaxelの腹腔内投与療法の開発を目的とした無作為化第II 相臨床試験			
医療技術名	腹膜播種を伴う胃癌に対するS-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 肉眼的腹膜播種または腹腔内遊離癌細胞を伴う胃癌を対象として、S-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法を施行し、その安全性および有効性の評価を行う			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	80人	・膿疱性乾癬	11人
・多発性硬化症	75人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	79人	・原発性胆汁性肝硬変	26人
・全身性エリテマトーデス	293人	・重症急性膵炎	10人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	30人
・再生不良性貧血	59人	・混合性結合組織病	52人
・サルコイドーシス	93人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	37人	・特発性間質性肺炎	24人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	200人	・網膜色素変性症	97人
・特発性血小板減少性紫斑病	101人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	33人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	185人	・神経線維腫症	18人
・大動脈炎症候群	23人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	17人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	19人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7人
・脊髄小脳変性症	38人	・ライゾーム病	0人
・クローン病	51人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	15人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	302人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	7人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5人
・後縦靭帯骨化症	57人	・肥大型心筋症	3人
・ハンチントン病	5人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	9人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	41人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	30人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	29人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・強度変調放射線治療	・
・眼底三次元画像解析	・
・画像支援ナビゲーション手術	・
・乳がんセンチネルリンパ節生検	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	29
部 検 の 状 況	部検症例数 51 例 / 部検率 7.77%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
医療連携モデルを基盤とした総合診療系医と領域別専門医の必要数算定法と専門医制度の検討	宮崎 俊一	循環器内科	600,000	補委 厚生労働省
ヒトとマウスの相同性を駆使した1型糖尿病遺伝子の同定ならびに機能解析	池上博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	2,860,000	補委 日本学術振興会
1型糖尿病・2型糖尿病に共通する遺伝子基盤の同定ならびに機能解析	能宗伸輔	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
1型糖尿病発症メカニズム解明と早期診断システムの構築	馬場谷成	内分泌・代謝・糖尿病内科	3,120,000	補委 文部科学省
糖尿病のゲノム解析と成因分類に基づくテーラーメイド医療の構築に関する臨床研究	池上博司	内分泌・代謝・糖尿病内科	5,000,000	補委 平成21年度保険医療分野における基礎研究推進事業
1型糖尿病に合併する自己免疫疾患とその遺伝的背景に関する研究	能宗伸輔	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,000,000	補委 平成21年度第3回 Diabetes Master Conference 研究助成(日本糖尿病財団)
脾島自己抗原の新規発現調節機構の解明と1型糖尿病発症修飾への応用	能宗伸輔	内分泌・代謝・糖尿病内科	1,000,000	補委 平成21年度 日本糖尿病財団・ノバルティスファーマ研究助成
「血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎および臨床的研究」	工藤正俊	消化器内科	700,000	補委 厚生労働省
「抗悪性腫瘍薬による肝炎ウイルス再活性化の調査とその対応に関する研究」	工藤正俊	消化器内科	1,500,000	補委 厚生労働省
「初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼両方の有効性に関する多施設共同研究」	工藤正俊	消化器内科	200,000	補委 厚生労働省
「肝がんの新規治療法に関する研究」	工藤正俊	消化器内科	2,000,000	補委 厚生労働省
「C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変からの発がん予防ペプチドワクチン療法の開発」	工藤正俊	消化器内科	1,000,000	補委 厚生労働省
ニューパチの病態におけるプロテオグリカンの役割の解明と新規治療法の開発	楠 進	神経内科	8,000,000	補委 厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究	楠 進	神経内科	15,600,000	補委 厚生労働省

小計
14

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
スモンに関する調査研究	楠 進	神経内科	700,000	補委 厚生労働省
疾病の診断基準等作成のための症例研究：アトピー性背髄炎診断基準の作成とそれに基づいた臨床疫学調査の実施	楠 進	神経内科	500,000	補委 厚生労働省
ピッカースタッフ脳幹脳炎の本邦における実態把握と病態解明に向けた研究	楠 進	神経内科	4,000,000	補委 厚生労働省
慢性炎症性脱髄性多発神経炎の臨床情報・生体試料バンクの構築	楠 進	神経内科	800,000	補委 厚生労働省
生体試料等の収集に関する研究：日本人多発性硬化症患者緯度・病型別臨床データ/サンプルバンクの構築	楠 進	神経内科	研究代表者一括計上	補委 厚生労働省
副反応サーベイランス体制の検討に関する研究	楠 進	神経内科	研究代表者一括計上	補委 厚生労働省
難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発	楠 進	神経内科	750,000	補委 厚生労働省
抗ガングリオシド抗体による神経細胞障害機序の解析：細胞内シグナル伝達への作用	楠 進	神経内科	4,000,000	補委 文部科学省
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	中川和彦	腫瘍内科	18,200,000	補委 厚生労働省
限局型小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	中川和彦	腫瘍内科	700,000	補委 厚生労働省
呼吸器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	中川和彦	腫瘍内科	1,200,000	補委 厚生労働省
再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究	中川和彦	腫瘍内科	1,000,000	補委 厚生労働省
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	中川和彦	腫瘍内科	3,200,000	補委 厚生労働省
ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)を用いた悪性胸膜中皮腫に対する効果的治療法の開発研究	中川和彦	腫瘍内科	2,500,000	補委 厚生労働省
原発不明がんの診断・効果的治療の確立に関する研究	岡本 勇	腫瘍内科	500,000	補委 厚生労働省
進展型小細胞肺癌に対する予防的全脳照射のランダム化比較第Ⅲ相試験	岡本 勇	腫瘍内科	300,000	補委 厚生労働省
EGFRチロシンキナーゼ阻害剤獲得耐性の分子メカニズムに基づいた耐性克服研究	岡本 勇	腫瘍内科	2,100,000	補委 文部科学省
呼吸器悪性腫瘍患者の安全かつ適正な外来化学療法管理システムに関する研究	藤 阪 保 人	腫瘍内科	900,000	補委 厚生労働省

小計
18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
厚生労働科学研究費補助金免疫アレルギー疾患など予防・治療研究事業 アレルギー疾患の予後改善を目指した自己管理および生活環境改善に資する治療戦略の確立に関する研究	東田 有智	呼吸器・アレルギー内科	300,000	補 委 厚生労働省
ループス腎炎に対するレチノイン酸の効果	船内 正憲	腎臓・膠原病内科	800,000	補 委 乙卯研究所
糖尿病における酸化ストレス・小胞体ストレスの病態解明について	中谷 嘉寿	腎臓・膠原病内科	1,170,000	補 委 日本学術振興会
腎糸球体血行動態の性差・腎臓の老化機序を含めた生理的・病態生理的意義	有馬 秀二	腎臓・膠原病内科	1,300,000	補 委 日本学術振興会
精神疾患の客観的補助診断法の標準化と科学的根拠に基づく治療反応性の判定法の確立	白川 治	精神神経科学	1,300,000	補 委 精神・神経疾患研究委託費 国立精神神経センター
ヘルパーT細胞を中心とした革新的免疫療法の開発	奥野 清隆	外科	2,999,850	補 委 NEDO再委託： (株)バイオミューン
大腸癌ペプチドワクチン臨床研究の実施	奥野 清隆	外科	5,000,100	補 委 NEDO再委託： オノセビ- (株)
治癒切除不能進行胃癌に対する減量手術の意義に関する研究	塩崎 均	外科	1,300,000	補 委 厚生労働省
難治性脾疾患に関する調査研究	竹山 宜典	外科	1,500,000	補 委 厚生労働省
サブスタンスPの分泌制御による食道癌術後の誤嚥性肺炎の予防と嚥下機能改善	安田 卓司	外科	1,690,000	補 委 日本学術振興会
大腸癌スクリーニング検査としての便中細胞における遺伝子学的検査	吉藤 竹仁	外科	700,000	補 委 日本学術振興会
皮質脳波信号処理に基づく運動・言語の脳-コンピュータインタフェースの開発	加藤 天美	脳神経外科	3,400,000	補 委 日本学術振興会
バイオメディカルフォトリックLSIの創成：機能的脳疾患医療応用の検討	加藤 天美	脳神経外科	10,000,000	補 委 科学技術振興機構
神経膠芽腫に対するインターフェロンを介した抗腫瘍効果に関する研究	奥田 武司	脳神経外科	500,000	補 委 杉田記念脳研究助成基金
失語症訓練におけるヒント効果から見た言語機能研究	岡田 理恵子	脳神経外科	770,000	補 委 日本学術振興会
泌尿器癌に対するMHCクラスIペプチドワクチンの研究	植村 天受	泌尿器科	1,000,000	補 委 日本イーライリリー株式会社
Pre-clinical applications using the prostate specific PTEN conditional gene targeting mouse model	植村 天受	泌尿器科	2,000,000	補 委 アストラゼネカ・リサーチグラント
前立腺癌患者に対する癌ワクチン療法に応用できる腫瘍関連抗原由来ペプチドの同定	南 高文	泌尿器科	500,000	補 委 文部科学省

小計
18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
緑内障、黄斑疾患に対する新しい視野計の開発	松本 長太	眼科	3,510,000	補委 文部科学省
自動動的視野測定プログラムの開発と臨床応用	橋本 茂樹	眼科	910,000	補委 文部科学省
自動動的視野測定プログラムの開発	橋本 茂樹	眼科	1,200,000	補委 大阪難病研究財団
HSV-1潜伏感染マウスにおける三叉神経への浸潤免疫細胞の解析	菅原 大輔	眼科	488,000	補委 財団法人大阪アイバンク
変視症が日常生活に及ぼす影響について	松本 長太	眼科	1,000,000	補委 木原満智子眼医療基金
医療放射線の安全確保に関する研究	細野 眞	高度先端総合医療センター (PET診断部門)	4,500,000	補委 厚生労働省
認知症の早期診断のための画像診断機器 (ネットワーク活用による共同カンファレンスシステムを含む。)の開発	石井 一成	放射線診断学部門	2,000,000	補委 国立長寿医療研究センター
「放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究」	西村 恭昌	放射線腫瘍学部門	1,500,000	補委 厚生労働省
「高精度治療技術による低リスク高線量放射線治療に関する臨床研究」	西村 恭昌	放射線腫瘍学部門	300,000	補委 厚生労働省
早期の癌に対する標準的放射線治療の確立のための臨床試験	西村 恭昌	放射線腫瘍学部門	400,000	補委 日本学術振興会
放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究	柴田 徹	放射線腫瘍学部門	800,000	補委 厚生労働省
カルバマゼピンの脊髄における鎮痛効果	上原 圭司	麻酔科	1,200,000	補委 財団法人大阪難病研究財団
カルバマゼピンの慢性炎症性疼痛に対する疼痛抑制効果	岩元 辰篤	麻酔科	2,000,000	補委 財団法人阪本精神病理学研究所
天然高分子と合成高分子の複合化技術を導入した自家移植モデルにおける軟骨再生 (基礎研究C)	磯貝 典孝	形成外科	4,030,000	補委 日本学術振興会
顔面骨折における吸収性プレート (ネオフィックスミニプレート) の有効性の臨床研究	諸富 公昭	形成外科	500,000	補委 小林製薬 (株) 小林メディカルカンパニー
動物モデルにおける切断指に対する漢方薬の効果に関する検討	遠所 瑞拡	形成外科	200,000	補委 (株) ツムラ
生体吸収材料を用いた超微小血管吻合法の開発	楠原 廣久	形成外科	500,000	補委 大正富山医薬品 (株)

小計
17

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Cardiol. 2009 ;104: 769-774	Comparison of blood glucose values on admission for acute myocardial infarction in patients with versus without diabetes mellitus.	Ishihara M, Miyazaki S, et al.	循環器内科
Circ J. 2009;73:1593-1594	Cystatin C in a high-risk combination.	Iwanaga Y, Miyazaki S.	循環器内科
Circ J. 2009;73:1219-1227	Improved long-term prognosis of elderly women in the era of sirolimus-eluting stents.	Kataoka Y, Miyazaki S, et al	循環器内科
Circulation 2009;119:987-995	Antiplatelet therapy and stent thrombosis after sirolimus-eluting stent implantation.	Kimura T, Miyazaki S, et al.	循環器内科
Am J Cardiol. 2009;103:322-327	Combined prognostic utility of white blood cell count, plasma glucose, and glomerular filtration rate in patients undergoing primary stent placement for acute myocardial infarction.	Kosuge M, Miyazaki S, et al	循環器内科
Int heart J 2009;50:823-827	Destructive device removal - sparks and deletion of therapy history from an implantable cardioverter defibrillator.	Kurita T, Miyazaki S, et al	循環器内科
Circ J. 2009;73:1856-1863	Significant association of coronary artery calcification in stent delivery route with restenosis after sirolimus-eluting stent implantation.	Mori S, Miyazaki S, et al	循環器内科
Circulation 120 (18 Supplement) S374, 2009	Quantitative Analysis of Myocardial Perfusion Imaging by Using 64 Channels Multi-Detector-row Computed Tomography.	Nakauchi Y, Ikuta S, Kudo M, Murakami T, Miyazaki S.	循環器内科
Clin Chem 2009 ;55:1347-1353	Impact of left ventricular end-diastolic wall stress on plasma B-type natriuretic peptide in heart failure with chronic kidney disease and end-stage renal disease.	Iwanaga Y, Miyazaki S, et al.	循環器内科
Nephrol Dial Transplant 2009; 24:597-603	Plasma B-type natriuretic peptide levels reflect the presence and severity of stable coronary artery disease in chronic haemodialysis patients.	Niizuma S, Iwanaga Y, Miyazaki S et al.	循環器内科
Circulation 120 (18 Supplement) S1071, 2009	Plaque color in the Culprit Lesion is Associated With Incidence of Revascularization After Percutaneous Coronary Intervention for Acute Myocardial Infarction.	Saratani K, Iwanaga Y, Hayashi T, Miyazaki S.	循環器内科
Circulation 2010;122:42-51	Sirolimus-eluting stent versus balloon angioplasty for sirolimus-eluting stent restenosis: Insights from the j-Cypher Registry.	Abe M, Kurita T, Miyazaki S, et al.	循環器内科
Circ J. 2010;74:1274-1282	Heart failure, chronic kidney disease, and biomarkers--an integrated viewpoint--.	Iwanaga Y, Miyazaki S.	循環器内科
Circulation 2010;122:52-61	Comparisons of baseline demographics, clinical presentation, and long-term outcome among patients with early, late, and very late stent thrombosis of sirolimus-eluting stents: Observations from the Registry of Stent Thrombosis for Review and Reevaluation (RESTART).	Kimura T, Miyazaki S, et al.	循環器内科
Am J Cardiol. 2010;106:329-336	Incidence and risk factors of late target lesion revascularization after sirolimus-eluting stent implantation (3-year follow-up of the j-Cypher Registry).	Nakagawa Y, Miyazaki S, et al.	循環器内科
Atherosclerosis 2010	Impact of plaque color by angioscopic evaluation on long-term clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction undergoing percutaneous coronary intervention.	Saratani K, Iwanaga Y, Hayashi T, Miyazaki S, et al.	循環器内科
Diabetes Technology & Therapeutics	Sensitivity Competitive Europium Insulin Autoantibody Assay	馬場谷 成	内分泌・代謝・糖尿病内科
Endocrin Journal	The Onset of Diabetes in Three out of Four Sisters: A Japanese Family with Type 1 Diabetes. A Case Report	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科
Diabetes Metab Res Rev	Comparison of insulin autoantibody: polyethylene glycol and micro-IAA 1-day and 7-day assays	馬場谷 成	内分泌・代謝・糖尿病内科
Diabetologia	Differential association of HLA with three subtypes of type 1 diabetes: fulminant, slowly-progressive and acute-onset type 1 diabetes	川畑 由美子	内分泌・代謝・糖尿病内科
Diabetologia	Common variants at the GCK, GCKR, G6PC2-ABCB11 and MTNR1B loci are associated with fasting glucose in two Asian populations	池上 博司	内分泌・代謝・糖尿病内科
J Gastroenterol	Multistep human hepatocarcinogenesis: correlation of imaging with pathology.	Kudo M	消化器内科
Digestion	Recombined interferon plus ribavirin combination therapy for chronic hepatitis C with high viral load of serum hepatitis C virus RNA: genotype 1b. discontinued on obtaining sustained virological response at week 16 after onset of acute pancreatitis.	Kudo M	消化器内科
Hepatology Int	Well-differentiated hepatocellular carcinoma smaller than 15mm in diameter totally eradicated with percutaneous ethanol injection instead of radiofrequency ablation.	Kudo M	消化器内科
AJR Am J Roentgenol	Value of liver parenchymal phase contrast-enhanced sonography to diagnose the preinflammatory and borderline lesions and overt hepatocellular carcinoma.	Inoue T	消化器内科
Hepatology	Pathologic diagnosis of early hepatocellular carcinoma: A report of the international consensus group for hepatocellular neoplasia.	Kudo M	消化器内科

Inflamm Bowel Dis	Crohn's disease with gastroduodenal mucosa lesions that are similar to the lesions caused by ulcerative colitis.	Umehara Y	消化器内科
J Gastroenterol	Small cell carcinoma of the pancreas: role of EUS-FNA and subsequent effective chemotherapy using carboplatin and etoposide.	Sakamoto H	消化器内科
World J Gastroenterol	Scirrhus hepatocellular carcinoma displaying atypical findings on imaging studies.	Kudo M	消化器内科
J Gastroen Hepatol	Prospective comparative study of the EUS guided 25-gauge FNA needle with the 19-gauge Trucut needle and 22-gauge FNA needle in patients with solid pancreatic masses.	Sakamoto H	消化器内科
Inflamm Bowel Dis	Campylobacter fetus meningitis in a patient with Crohn's disease.	Umehara Y	消化器内科
Digest Endosc	Present status and future perspective of EUS-guided drainage.	Kitano M	消化器内科
J Viral Hepati	Association of genetic polymorphisms with interferon-induced haematologic adverse effects in chronic hepatitis C patients.	Kudo M	消化器内科
J Hepatol	Hepatectomy versus radiofrequency ablation for early hepatocellular carcinoma: Reply.	Kudo M	消化器内科
World J Gastroenterol	Small invasive ductal carcinoma of the pancreas distinct from branch duct intraductal papillary mucinous neoplasm. Case Report.	Sakamoto H	消化器内科
AJR Am J Roentgenol	Percutaneous aspiration and ethanolamine oleate sclerotherapy for sustained resolution of symptomatic polycystic liver disease: an initial experience.	Nakaoka R	消化器内科
Endoscopy	Endoscopic findings of intestinal Behcet's disease complicated with toxic megacolon.	Umehara Y	消化器内科
Hepatogastroenterol	Comparison of an esomeprazole and proton pump inhibitor (PPI) combination therapy with PPI alone in the treatment of endoscopic submucosal dissection (ESD)-induced ulcers in early gastric cancer: prospective randomized study.	Asakuma Y	消化器内科
Case Rep Gastroenterol	Acute pancreatitis associated with pegylated interferon and ribavirin treatment of chronic hepatitis C, genotype 1b with high viral load.	Kudo M	消化器内科
Eur Radiol	Consensus report of the 2nd international forum for liver MRI.	Kudo M	消化器内科
J Hepatol	Transarterial chemotherapy alone versus transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma: a randomized phase III trial.	Kudo M	消化器内科
World J Radiol	Contrast-enhanced harmonic ultrasound imaging in ablation therapy for primary hepatocellular carcinoma.	Minami Y	消化器内科
Endoscopy	Transgastric EUS guided gallbladder drainage for acute cholecystitis.	Kamata K	消化器内科
LIVER MRI	The burden of HCC in Asia-Pacific.	Kudo M	消化器内科
Liver Int	Age and immunoglobulin G4-associated autoimmune hepatitis: author's response.	Chung H	消化器内科
Liver Int	Identification and characterization of IgG4-associated autoimmune hepatitis.	Chung H	消化器内科
J Hepato-Biliary-Pan	Single HCC between 2 and 5cm: the grey zone: Hepatologist's perspective.	Kudo M	消化器内科
総合臨床	貧血の分類と鑑別	金丸昭久	血液内科
Hematology	Relationship between expression of mutant type glutathione S-transferase theta-1 gene and reactivity of rapamycin in myelodysplastic syndrome	Yasuhiro Maeda	血液内科
Int J Hematol	Comparative analysis of remission induction therapy for high-risk MDS and AML progressed from MDS in the MDS200 study of Japan Adult Leukemia Study Group	Yasuyoshi Morita	血液内科
発熱性好中球減少症の予防と対策	発熱性好中球減少症における起炎菌の変遷	辰巳陽一	血液内科
がんサポート	難治性B細胞リンパ腫に放射免疫療法	辰巳陽一	血液内科
医学と薬学	慢性特発性骨髄線維症	森田泰慶	血液内科
J Neurol Sci, 2009; 276: 103-107.	Upregulation of water channel aquaporin-4 in experimental autoimmune encephalomyelitis.	Miyamoto Katsuichi	神経内科
Neuroreport, 2009;20:718-722.	Selective phosphodiesterase-3 inhibitor cilostazol ameliorates EAE.	Kureshiro Juri	神経内科
J Neuroimmunol, 2009;214:125-127	Antibodies to ganglioside complexes consisting of asialo-GM1 and GM1b or GT1a in Fisher and Guillain-Barre syndromes.	Kusunoki Susumu	神経内科

Ther Apher Dial 2009;13:505-508.	Intermittent plasmapheresis prevents recurrence in neuromyelitis optica.	Miyamoto Katsuichi	神経内科
Brain and Nerve 61 : 601-604. 2009	抗アクアポリン4抗体陽性の高齢発症反復性脊髄炎の1例	宮本勝一	神経内科
臨床神経学49 : 424- 427. 2009	抗MuSK抗体陽性の重症筋無力症にネフローゼ症候群が合併した1例	塩山美章	神経内科
Clin Cancer Res.	Addition of S-1 to the epidermal growth factor receptor inhibitor gefitinib overcomes gefitinib resistance in non-small cell lung cancer cell lines with MET amplification.	Okabe, T., Okamoto, I., Tsukioka, S. et al.	腫瘍内科
Ann Oncol.	Zoledronic acid-induced regression of multiple metastases at nonskeletal sites.	Okamoto, K., Tsurutani, J., Terashima, M., et al.	腫瘍内科
Cancer Chemother Pharmacol.	Phase I clinical and pharmacokinetic study of the glucose-conjugated cytotoxic agent D-19575 (glufosamidol) in patients with solid tumors.	Shimizu, T., Okamoto, I., Tamura, K. et al.	腫瘍内科
J Thorac Oncol.	A phase I study of topotecan plus carboplatin for relapsed SCLC: WJTDG trial.	Kurata, T., Kashii, T., Takeda, K., et al.	腫瘍内科
Clin Cancer Res.	Phase I study of YM155, a novel survivin suppressant, in patients with advanced solid tumors.	Satoh, T., Okamoto, I., Miyazaki, M., et al.	腫瘍内科
Jpn J Clin Oncol.	Phase I dose-escalation and pharmacokinetic trial of Lapatinib (GW572016), a selective oral dual inhibitor of ErbB-1 and -2 tyrosine kinases, in Japanese patients with solid tumors.	Nakagawa, K., Minami, H., Kanezaki, M et al.	腫瘍内科
Cancer Res.	Sorafenib inhibits non-small cell lung cancer cell growth by targeting B-RAF in KRAS wild-type cells and C-RAF in KRAS mutant cells.	Takezawa, K., Okamoto, I., Yonesaka, K et al.	腫瘍内科
Clin Cancer Res.	Inhibition of Insulin-Like growth factor 1 receptor by CP-751,871 radiosensitizes Non-Small cell lung cancer cells.	Iwasa, T., Okamoto, I. et al.	腫瘍内科
Jpn J Clin Oncol.	Cisplatin and Etoposide Chemotherapy Combined with Early Concurrent Twice-daily Thoracic Radiotherapy for Limited-disease Small Cell Lung Cancer in Elderly Patients.	Okamoto K, Okamoto I, Takezawa K. et al.	腫瘍内科
Cancer Sci.	Effects of Src inhibitors on cell growth and epidermal growth factor receptor and MET signaling in gefitinib-resistant non-small cell lung cancer cells with acquired MET amplification.	Yoshida T, Okamoto I, Okamoto W, et al.	腫瘍内科
Jpn J Clin Oncol.	Phase I Clinical and Pharmacokinetic Study of RAD001 (Everolimus) Administered Daily to Japanese Patients with Advanced Solid Tumors.	Okamoto I, Doi T, Ohtsu A. et al.	腫瘍内科
J Thorac Oncol.	Phase II Trial of Amrubicin for Second-Line Treatment of Advanced Non-small Cell Lung Cancer.	Kaneda H, Okamoto I, Hayashi H, et al.	腫瘍内科
J Thorac Oncol.	De Novo Resistance to Epidermal Growth Factor Receptor-Tyrosine Kinase Inhibitors in EGFR Mutation-Positive Patients with Non-small Cell Lung Cancer.	Takeda M, Okamoto I, et al.	腫瘍内科
最新抗菌薬療法マニュアル	院内肺炎：何を選んでどう使うのか？	宮良高維	呼吸器アレルギー内科
アレルギー免疫	重症喘息の難治化要因と合併症～精神・心理的側面もふまえて～	岩永賢司 東田有智	呼吸器アレルギー内科
肺炎ガイドライン活用のための抗菌薬の賢い使い方	成人市中肺炎診療ガイドラインはどこが改定されたの？	宮良高維	呼吸器アレルギー内科
International Review of Asthmas & COPD	免疫グロブリン大量静注療法が有効であったChurg-Strauss症候群による末梢障害の1例	岩永賢司 東田有智	呼吸器アレルギー内科
International Immunopharmacology	Inhaled montelukast inhibits cysteinyl-leukotriene-induced bronchoconstriction in ovalbumin-sensitized guinea-pigs: The potential as new asthma medication	Masato muraki, shu imbe, Ryuji Sato, YoKo Ikeda, Shigeyoshi Yamagata, Tashi Iwanaga, Yuji Tohda	呼吸器アレルギー内科
新臨床内科学	肺寄生虫疾患	宮良高維	呼吸器アレルギー内科
実例に学ぶ重症感染症治療	市中肺炎	宮良高維	呼吸器アレルギー内科
日本臨床免疫学会誌	Early diagnosis of connective tissue disease-related pulmonary hypertension	Funauchi M, Kishimoto K, Kinoshita K.	腎臓・膠原病内科
日本腎臓学会	Case of anti-glomerular basement membrane antibody nephritis in a patient who was able to withdraw from dialysis and gave birth twice but underwent living	Iwamoto I, Naiki Y, Nose K, Akiyama T, Sakaguchi M, Matsuoka T, Samejima K, Satou H, Funauchi M	腎臓・膠原病内科
臨床神経学	Anti-MuSK antibody-positive myasthenia gravis with nephrotic syndrome: a case report	Shioyama M, Mitui Y, Funauchi M, ueda H, Naiki Y, Siraisi H, Aomatsu H, Samejima K, Motomura M.	腎臓・膠原病内科
Am J Kidney Dis	Successful treatment with retinoids in patients with nephritis	Kinoshita K, Nozaki Y, Funauchi M, Kishimoto k, Sueiyama M, Shimazu H, Ikoma S.	腎臓・膠原病内科
Rheumatol Int.	Effects of bosentan on the skin lesions: an observational study from a single center in Japan	Funauchi M, Nagare Y, Kinoshita K, Kishimoto K, Hino S, Shimazu H, Yano T.	腎臓・膠原病内科
Tohoku J Exp Med	Decreased expression of catechol-O-methyltransferase in the renal cortex of malignant spontaneously hypertensive rats	Oshima K, Higashino H, Arima S, Ozaki S, Honda E, Munakata H, Tabuchi M, Park AM.	腎臓・膠原病内科

小計
29

J Gastrointest Surg 13	Immunohistochemical expression of osteopontin in gastric cancer	Imano M	外科
手術 63 (6)	胸部食道癌手術	塩崎 均	外科
外科治療 6	食道癌における内視鏡下治療と内視鏡外科の進歩	塩崎 均	外科
Digestive Surgery Now 6	食道再建術	塩崎 均	外科
癌の臨床 55 (1)	局所制御および遠隔制御の意義と有用性からみた進行食道癌に対する総合的治療戦略	安田 卓司	外科
癌の臨床 55 (2)	腹膜播種陽性スキルス胃癌に対する腹腔内+遠次全身化学療法 (Hybrid Chemotherapy)	今野 元博	外科
消化器科 45 (8)	化学療法施行中に癌性腹水を生じた胃癌症例に対するリザーブシステムを用いた腹腔内化学療法	今野 元博	外科
消化器病学の進歩 168-171	腹膜播種陽性胃癌症例に対する集学的治療	今野 元博	外科
消化器外科 4	臨床診断からの癌診断のプロセス リンパ節腫脹	新海 政幸	外科
臨床ナースのための basic&standard 167-182	手術室看護の知識と実際 8 術中の輸血および輸血管理	新海 政幸	外科
消化器肝胆膵ケア 12	胸部食道癌の切除術と合併症対策	新海 政幸	外科
臨床腫瘍プラクティス 5 (1)	食道がん治療をどう行うか 科学放射線療法	彭 英峰	外科
消化器外科NURSING 14 (12)	術式別の押さえどころがわかる退院指導マニュアル 食道切除術	彭 英峰	外科
Clinical Gastroenterol and Hepatol 7 (11 suppl)	Long-term prognosis of acute pancreatitis in Japan	Takeyama Y	外科
Dig Surg	Cystic nonfunctioning pancreatic endocrine neoplasm presenting the communication with main pancreatic duct	Kamei K	外科
J Gastroenterol	Plasma tissue factor pathway inhibitor levels in patients with acute pancreatitis	Yasuda T	外科
Report of a Case Surg Today	Early Infection to Peripancreatic Tissue in Mild Acute Pancreatitis	Kamei K	外科
ClinJ Gastro Hepatol	Long-term prognosis of acute pancreatitis in Japan	Takeyama Y	外科
日臨外会誌 70	巨大後腹膜気管支嚢胞の1例	石川 原	外科
肝・胆・膵	重症急性膵炎の病態と治療-急性膵炎における経腸栄養療法の現況	竹山 宣典	外科
Medicina 46	膵炎をどう治療するか-急性膵炎のマネジメントのポイントは? どのような患者をいつ専門医に紹介するか?	竹山 宣典	外科
消化器外科 32	知っておきたい最新のIVR-エコーガイド下・CTガイド下腹腔内臓器ドレナージ	安田 武生	外科
総合臨床 58	栄養総論、年齢や疾患別の必要量	土師 誠二	外科
Medical Practice 26	末梢静脈栄養-留意部位、留置法とその管理の実際	土師 誠二	外科
Medical Practice 26	末梢静脈栄養-末梢静脈に用いられる器具・物品とその準備	土師 誠二	外科
Nutrition Care 2	肝臓がん	土師 誠二	外科
臨床外科 64	肝硬変に対する肝切除におけるimmunonutrition	土師 誠二	外科
JNNスペシャル 87	免疫賦活栄養法のインパクト	土師 誠二	外科
Hepato-Gastroenterol (in press)	Prognostic factors in gastrointestinal perforation	Okuno K	外科
Surg Today (Review Article) 40 (4)	Pouch operation for rectal cancer	Hida J	外科

小計
30

Hepato-Gastroenterol 56 (1)	Depth of mesorectal invasion has prognostic significance in T3N0 low rectal cancer	Tokoro T	外科
消化器疾患最新の治療	結腸進行癌	奥野 清隆	外科
がんペプチドワクチン療法	がん免疫療法の歴史	奥野 清隆	外科
消化器外科 (臨時増刊号)	肛門管癌：診断と治療法の選択 消化器癌：診断・治療のすべて	奥野 清隆	外科
日本大腸肛門病学会誌	汎発性腹膜炎のため大腸全摘術を余儀なくされた機膜性 大腸炎の1例	所 忠男	外科
Acta Medica Kinki Univ	Case study of a rapidly enlarged basaloid carcinoma of the lung in which definitive diagnosis and radical treatment were achieved by early resection	廣畑 健	外科
日本バーチャルリアリ ティー学会	多値ポリウムラベルからの位相構造を反映した四面体 メッシュの構築	岩崎	外科
食道がん 消化器外科NURSING 春季増刊号	消化器外科疾患の病態生理とケア	今本 治彦	外科
小児外科	私の噴門形成術	八木 誠	外科
小児外科	複数肺葉に病変の存在する先天性嚢胞性腺腫様肺奇形に対 する手術	野上 隆司	外科
小児外科	治療に長期間を要した外傷性十二指腸血腫	野上 隆司	外科
Radiation Research	Evaluation of monoclonal antibody against p- boronophenylalanine of boron compound using in boron neutron capture therapy	中川修宏	脳神経外科
癌と化学療法 36 (4) : 2009	胃癌原発の髄膜癌腫症における治療検討	奥田武司	脳神経外科
MEDICAL TOUCH 13 (5) : 22- 23	画像治療—新しい低侵襲・局所選択的な脳神経外科治療	加藤天美	脳神経外科
Journal of Neuroendovascular Therapy3 (3) : 159- 164	後拡張を省いた頸動脈ステント留置術による狭窄率の遅延 性改善効果	中川修宏	脳神経外科
Journal of Clinical Neuroscience17 : 118- 121, 2010	Fluorescence-guided surgery of metastatic brain tumors using fluorescein sodium	奥田武司	脳神経外科
Surgical Neurology72 : 703- 706, 2009	Surgical technique of a cystic-type metastatic brain tumor: transformation to a solid-type tumor using hydrofiber dressing	奥田武司	脳神経外科
臨床脳波51 (7) :410- 417	てんかん性異常波伝播の脳磁図解析	加藤天美	脳神経外科
日本冠疾患学会雑誌	80歳以上の高齢者に対する冠動脈バイパス術の短期および 遠隔期成績の検討	西野貴子	心臓血管外科
日本冠疾患学会雑誌	冠動脈バイパス術におけるVirtuoSaphを用いたendoscopic saphenous vein harvestingの初期経験	藤井公輔	心臓血管外科
膝	ACL再建術後における骨孔拡大とその臨床成績に与える 影響	朝田滋貴	整形外科
整形外科看護	特集 人工股関節置換術後の合併症 術後合併症その他の 合併症	西坂文章	整形外科
中部整災誌	陈旧性月状骨脱臼の1例	富山貴司	整形外科
整形外科	V. インプラントの摩耗 1. 超高分子量ポリエチレンの摩 耗特性	赤木将男	整形外科
小児内科	子どものスポーツ障害と医業類似行為	浜西千秋	整形外科
日関病誌	「第1回」日本関節病学会に馳せた思い	浜西千秋	整形外科
Osteoporosis Jpn	大腿骨における骨質評価 (HSA) と大腿骨骨密度の検討	池田光正	整形外科
臨整外	腰部脊柱管狭窄症患者における足関節背屈筋力を用いた手 術・保存療法の評価	池田光正	整形外科
MEDICAMENT NEWS	人工関節置換術における抗菌薬使用法の検討 (1day 4dose と 2days 4doseの比較)	野中藤吾	整形外科
臨整外	整形外科術後感染における術前患者背景とその対策	野中藤吾	整形外科

Arthritis & Rheumatism	Induction of bovine articular chondrocyte senescence with oxidized low-density lipoprotein through lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor 1	S. Zushi	整形外科
整形外科看護	人工関節置換術の最小侵襲手術 (MIS-TKA)	松下哲尚	整形外科
臨床リウマチ	チャレンジに促されて	浜西千秋	整形外科
関節外科	特集 TKA術後感染の治療戦略 II. 各施設の治療方針と成績 近畿大学における治療成績と方針	朝田滋貴	整形外科
臨整外	慢性腰痛症、腰下肢痛に対するコルセット筋の座位エクササイズと筋力の即時数値的評価	浜西千秋	整形外科
日臨整誌	新医師臨床研修制度の功罪	浜西千秋	整形外科
日本人工関節学会誌	CT dataによるTKA術前計画に大腿骨頸部遺残軟骨が与える影響	朝田滋貴	整形外科
MB Orthop.	慢性腰痛症、腰下肢痛に対するコルセット筋教化療法	浜西千秋	整形外科
別冊整形外科	先天性股関節脱臼—その発生要因と治療戦略—	浜西千秋	整形外科
BJUI	Superoxide from NADPH oxidase as second messenger for the expression of osteopontin and monocyte chemoattractant protein-1 in renal epithelial cells exposed to calcium oxalate crystals	梅川徹	泌尿器科
E B M 泌尿器疾患の治療	進行腎癌に対して分子標的治療は推奨されるのか?	野澤昌弘	泌尿器科
E B M 泌尿器疾患の治療	再発予防に対する有効な食事、生活指導は?	梅川徹	泌尿器科
日本医事新報	進行性腎癌の治療—分子標的治療を中心に	野澤昌弘	泌尿器科
泌尿紀要	TUR後の化学放射線療法が著効した膀胱小細胞癌の1例	奥田康登	泌尿器科
音楽音響研究会資料	体内における生体信号の採取およびその利用に関する新たな考察と実験的試み	植村天受	泌尿器科
奈良医学雑誌	IMMUNOCHEMOTHERAPY WITH INTERFERON- α , INTERLEUKIN-2, 5-FLUOROURACIL, AND CIMETIDINE FOR PATIENTS WITH ADVANCED RENAL CELL CARCINOMA	植村天受	泌尿器科
泌尿紀要	上大静脈腫瘍塞栓から右心房内へ進展した晩期再発型進行精巣腫瘍の1例	植村天受	泌尿器科
泌尿器外科	腎癌治療における分子標的薬スニチニブの臨床的有用性について	植村天受	泌尿器科
泌尿器外科	進行性腎細胞癌患者におけるスニチニブの長期投与法の検討	野澤昌弘	泌尿器科
Aktuel Urol	Effect of Edaravone on Ischemia/Reperfusion Injury in Rat Urinary Bladder-Changes in Smooth Muscle Cell Phenotype and Contractile Function	松本成史	泌尿器科
泌尿器外科	本邦における分子標的薬の使用経験	吉村一宏	泌尿器科
泌尿器外科	長期投与を可能にするためのスニチニブの「副作用マネジメント」	野澤昌弘	泌尿器科
新Urologic Surgeryシリーズ4	腎盂尿管移行部狭窄症に対する手術	梅川徹	泌尿器科
腎移植・血管外科	細菌・真菌感染症 クリプトコッカス症	西岡伯	泌尿器科
Aktuel Urol	Effect of Edaravone on Ischemia/Reperfusion Injury in Rat Urinary Bladder-Changes in Smooth Muscle Cell Phenotype and Contractile Function	松本成史	泌尿器科
Int. J. Urology	Diphenyleneiodium (DPI) reduces oxalate ion- and calcium oxalate monohydrate ad brushite crystal-induced upregulation of MCP-1	梅川徹	泌尿器科
臨床腫瘍プラクティス	外科的治療の実際—手術の進め方とフォローアップ	吉村一宏	泌尿器科
Cancer Sci	Immunological evaluation of personalized peptide vaccination monotherapy in patients with castration-resistant prostate cancer	植村天受	泌尿器科
Int. J. Urology	Glomus tumor of the kidney	杉本公一	泌尿器科

Current Eye Research	Cyclooxygenase (COX) -inhibiting drug reduces HSV-1 reactivation in the mouse eye model	楢垣 史郎	眼科
眼科臨床紀要	先天網膜分離症とその類縁疾患について	中尾 彰	眼科
J Glaucoma	Detectability of Glaucomatous Changes Using SAP, FDT, Flicker Perimetry, and OCT	野本 裕貴	眼科
臨床眼科	感覚性外斜視の術後経過	河本 庄平	眼科
眼科臨床紀要	先天網膜分離症とその類縁疾患の検討	中尾 彰	眼科
眼科臨床紀要	網膜中心静脈閉塞症におけるbevacizumab硝子体内投与前後の網膜電図変化	中尾 彰	眼科
あたらしい眼科	緑内障における新しい視野解析プログラムPolar Graphの使用経験	七部 史	眼科
眼科	〔臨床報告〕高齢サルコイドーシス患者に対する白内障手術の検討	菅原 大輔	眼科
Clinical Ophthalmology	Intraocular penetration of sequentially instilled topical moxifloxacin, gatifloxacin, and levofloxacin	杉岡 孝二	眼科
あたらしい眼科	111. 新しい静的視野経過観察プログラム	松本 長太	眼科
臨床眼科	1. 診断編 4. 視野-新しい視野計を臨床でどのように用いるか	松本 長太	眼科
日本視能訓練士協会誌	MNREAD-Jkを用いた不同視弱視および微小斜視弱視を合併した不同視弱視の読書能力	大牟禮 和代	眼科
あたらしい眼科	現代の視野検査	松本 長太	眼科
あたらしい眼科	「視野が欠ける」患者への対応	松本 長太	眼科
JAPANESE JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY	Oscillatory Potentials with Repeated-Flash Electroretinography	国吉 一樹	眼科
Radiother Oncol. 92: 260-265, 2009	A randomized phase II study of cisplatin/5-FU concurrent chemoradiotherapy for esophageal cancer: short-term infusion versus protracted infusion chemotherapy (KROSG0101/JROSG021)	Nishimura Y, Mitsumori M, Hiraoka M, Koike R, Nakamatsu K, Kawamura M, Negoro Y, Fujiwara K, Sakurai H, Mitsuhashi N	放射線腫瘍学部門
Jpn J Clin Oncol 40:54-59, 2010	Cisplatin and etoposide chemotherapy combined with early concurrent twice-daily thoracic radiotherapy for limited-disease small cell lung cancer in elderly patients.	Okamoto K, Okamoto I, Takezawa K, Tachibana I, Fukuoka M, Nishimura Y, Nakagawa K	放射線腫瘍学部門
Jpn J Clin Oncol 40:130-138, 2010	A two-step intensity modulated radiation therapy method for nasopharyngeal cancer: the Kinki University Experience.	Nishimura Y, Shibata T, Nakamatsu K, Kanamori S, Koike R, Okubo M, Nishikawa T, Tachibana I, Tamura M, Okumura M	放射線腫瘍学部門
Phys Med Biol 55: 3101-3113, 2010	The effect of gantry and collimator angles on leaf limited velocity and position in dynamic multileaf collimator intensity-modulated radiation therapy.	Okumura M, Obata Y, Shimomura K, Tamura M, Nishimura Y	放射線腫瘍学部門
J Anesth	Tracheal intubation in a patient with undetectable tracheal narrowing on chest radiography	Hakimoto Y, Takasugi Y, Kamamoto H, Shigemori S, Koga Y, Mori K	麻酔科
ICUとCCU	肺血栓塞栓症〔特集〕ICUにおける重症肺炎患者の早期診断・治療および予防	高杉嘉弘, 保田知生, 梶川竜治	麻酔科

小計
21

麻酔	反回神経麻痺をともなう橋状声帯癒着症患者に対する声門開大術におけるビデオ喉頭鏡の有用性	梶川竜治, 重盛沙恵, 宇野洋史, 高杉嘉弘, 古賀義久	麻酔科
臨床麻酔	中心静脈カテーテルに起因する深部静脈血栓症	高杉嘉弘, 塩川泰啓, 平松謙二, 宇野洋史, 有光正史, 梶川竜治, 白井 達, 打田智久, 鎌本洋通, 岩元辰篤, 上原圭司, 柴麻由佳, 八田幸治, 重盛沙恵, 森本昌宏, 古賀義久	麻酔科
臨床麻酔	Netherton症候群を伴う乳児の全身麻酔経験	大内謙太郎, 宇野洋史, 王仁成, 冬田昌樹, 古賀義久, 砂田勝久	麻酔科
「患者までとどいている再生誘導治療」発行「ザ・イシュー」	指尖部切断再接着への応用 (分担執筆)	楠原廣久 磯貝典孝	形成外科
Acta Medica Kinki University	Surgical approach to medial wall fracture of the orbit by osteotomy	朝村真一	形成外科
Wound Repair and Regeneration	Tissue engineering a model for the human ear: Assessment of size, shape, morphology, gene expression and biomechanical flexibility index following	楠原廣久	形成外科
Tissue Engineering	Development of bone and cartilage in tissue-engineered human middle phalanx models.	和田仁孝	形成外科
J of Cranio-Maxillofacial Surgery	Treatment of orbital floor fracture using a periosteum-polymer complex	朝村真一	形成外科
Oral Med Pathol	Postoperative evaluation after injury of the temporal branch of the facial nerve: a case report	松永和秀	形成外科
日本外科系連合学会誌	A Patient who Underwent Reconstruction of Nasal-Alar with Auricular Helix Composite Graft and Application of bFGF	松永和秀	形成外科
日本外科系連合学会誌	自家骨を用いた眼窩骨折手術症例の臨床的検討—術後1年経過時の予後について—	松永和秀	形成外科
日手会誌	肘管症候群に対する皮下前方移動術—65歳未満と65歳以上での比較—	大谷和裕	リハビリテーション医学
大阪臨床整形外科医会会報	整形外科における医療安全—大阪府の現状をふまえて—	福田寛二	リハビリテーション医学
日関病誌	RA手指障害に対するSwanson人工指関節置換術の短期成績	大谷和裕	リハビリテーション医学
中部整災誌	診断に難渋したミュンヒハウゼン症候群によると思われる手関節部蜂窩織炎	大谷和裕	リハビリテーション医学
Respiratory Medicine	Serum biomarkers as predictors of lung function decline in chronic obstructive pulmonary disease.	東本有司	リハビリテーション医学
Geriatrics & Gerontology International	Clinical and inflammatory factors associated with body mass index in elderly patients with chronic obstructive pulmonary disease	東本有司	リハビリテーション医学
日本顎関節学会雑誌 第21巻 第2号 99-104 2009年	NMDA誘発性顎運動時の三叉神経中脳路核ニューロンの神経活動	榎本明史	歯科口腔外科
Hepatology Research	Present status of drug-induced liver injury (DILI) in Japan. Is a proposed diagnostic scale useful?	上裕俊法	臨床検査医学
日本内科学会雑誌	慢性肝疾患診療のポイント—肝臓専門医と総合内科医との連携に向けて—	上裕俊法	臨床検査医学
医学検査	臨床検体を用いたTOX A/B QUIK CHEK「ニッスイ」の評価	上裕俊法	臨床検査医学
救急医学	【熱傷治療ガイド2010】急性期の治療 気道熱傷 呼吸管理のポイント	嶋津岳士	救急診療部 ER部
EMERGENCY CARE	【新人ナースのためのイラストで学ぶ部位別フィジカルアセスメント】腹部の異常はここをこらみる!	中江晴彦	救急診療部 ER部
救急医学	【救急医療と医療安全】感染と医療安全 救急室(ER)における感染対策	松田外志朗	救急診療部 ER部
消化器外科	【外科当直医必携】救急外来当直医必携 救急・蘇生処置 動脈穿刺・カテーテル留置(圧モニターを含む)	富吉浩雅	救急診療部 ER部
日本集団災害医学会誌	わが国におけるMIMS災害医療教育コース開催の現状と課題 過去6年間の活動から	嶋津岳士	救急診療部 ER部
中毒研究	わが国における中毒診療実態の変化 昭和56年調査と平成19年調査の比較	嶋津岳士	救急診療部 ER部

小計
27

医学教育	医学生の実習における症候診断能力の評価	栗原敏修	救急診療部 ER部
皮膚臨床	長期ステロイド内服中に発症したリンパ管型Mycobacterium chelonae皮膚感染症の2例	南 幸、磯貝理恵子、川原 繁、川田 暁	皮膚科
皮膚の科学	二重乳房外Paget病 外陰部と左腋窩に病巣がみられた1例	三宅宗晴、遠藤英樹、東森倫子、吉田益喜、川原 繁、川田 暁、安田 滋、吉岡啓子	皮膚科
日本皮膚外科学会誌	頬粘膜癌の放射線治療後に誘発されたと考えられる有棘細胞癌の1例	吉田益喜、門脇麻衣子、成田智彦、川原 繁、川田 暁	皮膚科
皮膚病診療	毛包性ムチン沈着症-成人T細胞白血病/リンパ腫(ATLL)に合併した例-	和田珠恵、吉永英司、遠藤英樹、大磯直毅、川原 繁、川田 暁、小塚雄民	皮膚科
Skin Cancer	皮膚γδT細胞リンパ腫と考えられた1例	平尾文香、吉永英司、大磯直毅、川原 繁、川田 暁、東森倫子、島影達也、森田季慶、辰巳陽一、前田裕弘、金丸昭久	皮膚科
Optical Engineering	Novel biometrics based on nose pore recognition	Shangling Song, Kazuhiko Ohnuma, Zhi Liu, Akira Kawada, Tomoyuki Momma	皮膚科
Acta Medica Kinki University	Recent advances in psoriasis with special reference to pathophysiology and therapeutics	Kawara S, Kawada A	皮膚科
皮膚病診療	食道癌に伴った黒色表皮腫	吉永英司、山鳥佳香、川原 繁、川田 暁	皮膚科
J Dermatol Sci	Prevalence of atopic dermatitis in Japanese adults and community validation of the U.K. diagnostic criteria	Saeki H, Oiso N, Honma M, Iizuka H, Kawada A, Tamaki K	皮膚科
Br J Dermatol	A Japanese piebald patient with auburn hair color associated with a novel mutation p.P832L in the KIT gene and a homozygous variant p.I120T in the MC1R	Naoki Oiso, Kousuke Kishida, * Kazuyoshi Fukai, † Tomonori Motokawa, ‡ Naoko Hosomi, § Tamio Suzuki, ** Yoshihiko Mitsuhashi, * Ryoji Tsuboi, * Akira Kawada	皮膚科
臨床	慢性蕁麻疹治療における抗ヒスタミン薬の予防的投与および対症的投与方法の比較検討	古川福実、川田 暁、秀 道広	皮膚科
J Dermatol	Comparison of prevalence of atopic dermatitis in Japanese elementary schoolchildren between 2001/2002 and 2007/2008	Saeki H, Oiso N, Honma M, Odajima H, Iizuka H, Kawada A, Tamaki K	皮膚科
Invest New Drugs	Phase I clinical and pharmacokinetic study of sorafenib in combination with carboplatin and paclitaxel in patients with advanced non-small cell	Isamu Okamoto1, Masaki Miyazaki1, Ryotaro Morinaga1, Hiroyasu Kaneda1, Shinya Ueda1, Yoshikazu Hasegawa1, Taroh Satoh1, Akira Kawada2, Masahiro Fukuoka1, Koichi	皮膚科
Contact Dermatitis	Allergic contact dermatitis from dibucaine hydrochloride, chlorpheniramine maleate, and naphazoline hydrochloride in an over-the-counter	Yamadori Y, Oiso N, Hirao A, Kawara S, Kawada A	皮膚科
Clin Exp Dermatol	Pterygium inversum unguis: aberrantly regulated keratinization in the nail isthmus	Oiso N, Narita T, Tsuruta D, Kawara S, Kawada A	皮膚科
Clin Exp Dermatol	Acquired melanocytic naevus in naevus depigmentosus	Oiso N, Kawara S, Kawada A	皮膚科
皮膚科の臨床臨時増刊号	血管腫 日常診療に役立つ皮膚科最新情報-患者さんへの説明を含めて-	川田 暁	皮膚科
J Dermatol	Evaluation of anti-wrinkle effects of a novel cosmetic containing retinol using the guideline of the Japan Cosmetic Industry Association	Kawada A, Konishi N, Momma T, Oiso N, Kawara S	皮膚科
Dermatology	Pityriasis Rubra Pilaris with Preceding Cytomegalovirus Infection	Kawara S, Miyake M, Oiso N, Kawada A	皮膚科
Clin Exp Dermatol	Successful treatment of lichen amyloidosis associated with atopic dermatitis using a combination of narrowband ultraviolet B phototherapy, topical	Oiso N, Yudate T, Kawara S, Kawada A	皮膚科
J Dermatol	Adult T-cell leukemia-lymphoma associated with follicular mucinosis	Wada T, Yoshinaga E, Oiso N, Kawara S, Kawada A, Kozuka T	皮膚科
Case Reports in Dermatology (Case Rep Dermatol)	An adolescent patient with scabies mimicking Gottron papules	Yoshinaga E, Oiso N, Kawara S, Kawada A	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol	Diagnostic effectiveness of dermoscopy for tick bite	Oiso N, Kawara S, Yano Y, Kawada A	皮膚科
Dermatology	Phylloid hypermelanosis and melanocytic nevi with aggregated and disfigured melanosomes: causal relationship between phylloid pigment distribution	Oiso N, Tsuruta D, Imanishi H, Sasaya H, Narita T, Kobayashi H, Ikegami H, Kawada A	皮膚科

小計
25

Case Reports in Dermatology	Genital infection as a first sign of acute myeloid leukemia	Oiso N, Rai S, Kawara S, Tatsumi Y, Kawada Akira	皮膚科	
				小計 1
				計 248

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 工藤 正俊		
管理担当者氏名	病院事務部長代理 橋本 克己		
	保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療連携課 診療情報管理課	現在電子カルテ、フィルムレス化（一部を除く）の運用を行っている。従来の紙カルテは外来カルテ（フィルム）が1患者1フォルダー保管、入院カルテは1患者1カルテで保管し、集中管理している。紙カルテは外来・入院共に二次資料として、順次電子保存（デジタル化）している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	職員課	
	高度の医療の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	医事課	
	閲覧実績	診療情報管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	項規 第則 一第 号に 掲の 十一 条の 十一 体制 第一 項各 号の 及び 第九 条の 二十三 第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全対策室	
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全対策室	
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染対策室	
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全対策室	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療相談・安全管理課	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理 及び諸記 営る	規則第一条の十一 第一項各号及び第九 条の二十三第一項 第一号に掲げる体 制の確保の状況	院内感染対策のための 指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための 委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感 染対策のための研修の実 施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報 告その他の院内感染対策 の推進を目的とした改善 のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安 全な管理のための責任者 の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品 の安全使用のための研修 の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めの業務に関する手順書 の作成及び当該手順書に 基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めに必要となる情報の収 集その他の医薬品の安全 使用を目的とした改善の ための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用の ための責任者の配置状況	臨床工学部
		従業者に対する医療機 器の安全使用のための研 修の実施状況	臨床工学部
		医療機器の保守点検に 関する計画の策定及び保 守点検の実施状況	臨床工学部
		医療機器の安全使用の ために必要となる情報の 収集その他の医療機器の 安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状 況	臨床工学部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 工藤 正俊
閲覧担当者氏名	病院事務部長代理 橋本 克己
閲覧の求めに応じる場所	相談室 閲覧室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	69.2 %	算定期間	平成21年 4月 1日 ~ 平成22年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	18,920人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,678人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	589人	
	D: 初診の患者の数	33,865人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

①	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
	指針の主な内容： 1. 総則 2. 安全管理委員会 3. 安全管理部 4. リスクマネージャー 5. 報告等にもとづく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 6. 安全管理のためのマニュアル整備 7. 医療安全管理のための研修 8. 事故発生時の対応 9. 患者相談窓口 10. その他	
②	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 30 回
	活動の主な内容： 別添資料「1」	
③	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
	研修の主な内容： 別添資料「2」	
④	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
	・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： リスクマネージャー会議等を通じて全職員へ周知するとともに、院内LANに掲載し周知を図り、改善策の徹底を図っている。また、安全管理研修参加状況の個人識別化を実施している。	
⑤	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑥	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1 名) ・ 無
⑦	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
	・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (17) 名 ・ 活動の主な内容： 別添資料「1」	
⑧	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染防止対策に関する基本的考え方 2. 院内感染防止対策の組織の概要 3. 感染防止対策に関する職員研修 4. 感染症発症状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発症時の対応に関する基本方針 6. 患者等への情報提供と説明 7. その他の院内感染防止対策 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染防止対策の指針およびマニュアルの作成と改訂 2. 院内感染防止対策に関する情報の収集と職員への周知 3. 院内感染防止に関する職員研修の企画 4. 院内感染が疑われる事例等の原因究明結果と対策を職員に周知する 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 別添資料「3」 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (○有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ICTニュース、院内感染防止対策委員会、研修での感染対策防止に関する臨時情報により再発防止を図る 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 病棟・外来等における医薬品管理について 2. 麻薬の取扱について 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤師による病棟・外来等の医薬品管理 2. 薬剤師による病棟の注射剤調製業務の拡充 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の安全使用のための薬剤部ホームページの活用 2. 医療現場で活用しやすい医薬品データベース導入に向けた準備 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有 ・ 無		
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 10 回		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸器 除細動器 閉鎖式保育器 人工心肺・PCPS・IABP 血液浄化装置 シリンジポンプ・輸液ポンプ 放射線機器関連 			
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 (○有 ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding-right: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸器 除細動器 閉鎖式保育器 人工心肺 血液浄化装置 シリンジポンプ・輸液ポンプ 放射線機器関連 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ベッドサイドモニタ 心電計 内視鏡手術関連機器 </td> </tr> </table> 		<ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸器 除細動器 閉鎖式保育器 人工心肺 血液浄化装置 シリンジポンプ・輸液ポンプ 放射線機器関連 	<ul style="list-style-type: none"> ベッドサイドモニタ 心電計 内視鏡手術関連機器
<ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸器 除細動器 閉鎖式保育器 人工心肺 血液浄化装置 シリンジポンプ・輸液ポンプ 放射線機器関連 	<ul style="list-style-type: none"> ベッドサイドモニタ 心電計 内視鏡手術関連機器 		
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>病棟での医用テレメータ及びモニター送信機の一括管理と、チャンネル再分配による効率的かつ安全なモニタリング環境の整備。</p> 			

② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 活動の主な内容

1. 安全管理部の報告を受け、医療安全管理の検討及び研究に関すること
2. 医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに委員会によって立案された防止対策及び改善策の実施状況の調査及び見直しに関すること
3. 医療安全管理のために行う職員に対する指示に関すること
4. 医療安全管理のために行う院長等に対する提言に関すること
5. 医療安全管理のための啓発、教育、広報及び出版に関すること
6. 医療訴訟に関すること
7. その他医療安全に関すること

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 活動の主な内容

(業務)

第4条 医療安全対策室においては、次の各号にあげる業務を行う。

(2) 医療安全に関する日常活動に関すること。

1. 定期的に医療安全対策室会議を開催し、必要事項を管理委員会に勧告する。 2. 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査。
3. 定期的な現場の巡回・点検、マニュアルの遵守状況の点検
4. マニュアルの作成及び点検並びに見直しの提言等
5. アクシデント・インシデントレポートの収集、保管、分析、分析結果などの現場へのフィードバックと集計結果の管理、具体的な改善策の提案・推進とその評価
6. 医療安全に関する最新情報の把握と職員への周知
7. 医療安全に関する職員への啓発、広報
8. 医療安全に関する職員研修の企画、立案、運営
9. 医療安全対策ネットワーク整備事業に関する報告、とりわけ「軽微な処置・治療を要した事例または影響の認められなかった事例のなかで警鐘的意義が大きいと医療機関が考える事例」の選定
10. 必要に応じてリスクマネージャー会議を招集する。
11. 医療安全管理に係る連絡調整

医療安全管理研修実施状況平成21年度実績

資料「2」

	開催年月日	研 修 会 名	参加者数	DVD	備 考
1	H21. 4. 30	第8回狭山危機管理セミナー 「より良いコミュニケーションのために～がん診療の現場から～」	816	147	
2	H21. 6. 15	安全管理研修 医療安全対策室の年次報告と新たな取り組み	936	58	
3	H21. 7. 3, 6, 7	医療ガス及び器具の安全点検講習会 医療ガス及び器具の安全点検について 吸引器取り扱い説明	261		
4	H21. 9. 28	安全管理研修 安全な中心静脈穿刺を考える	721		
5	H21. 12. 15	安全管理研修 近年の医療裁判の動向	1033		
6	H22. 1. 28	安全管理研修 医療訴訟ガイダンス	516	27	
7	H22. 2. 25	安全管理研修 狭山コール事例より 当院における副作用報告 個人情報に関する最近の事例から	291		
	計			4806	

その他研修

H22. 3. 4	医療機器安全管理研修 人工呼吸器	145
-----------	---------------------	-----

	開催年月日	研 修 テ ー マ	参加者数	備 考
1	H21年4月21日	第1回 近大感染制御セミナー 「標準予防策」 「外科領域感染症」	801	
2	H21年5月21日	第2回 近大感染制御セミナー 新型インフルエンザのため中止		
3	H21年6月25日	第3回 近大感染制御セミナー 「新型インフルエンザについて」	1007	
4	H21年7月13日	第4回 近大感染制御セミナー 「抗菌薬適正使用について」 「検体採取について注意点など」 「整形外科手術部位感染」	716	
5	H21年9月15日	第5回 近大感染制御セミナー 「新型インフルエンザ第一派ピークは10月」 「消毒薬の適正使用」 「抗MRSA薬のTDM」 「負けないぞ！流行性角結膜炎」	755	
6	H21年10月7日	第8回 近大感染制御セミナー特別講演会 新型インフルエンザのため中止		
7	H21年12月～H22年2月	各部署にて手洗いキャンペーン実施	1676	
8	H21年7月～8月	近大感染制御DVD貸出 新型インフルエンザの流行状況と第二派流行期以降への対策	129	
9	H22年1月～3月	近大感染制御DVD貸出 新型インフルエンザ、医療廃棄物、手指衛生の適切な方法と手順	684	
	計		5768	